

愛しいあなた達へ

香西真弓

岡山県・三七・会社員

「ごめんね」あなた達には悲しい思いをさせることになりましたが、母さんはあなた達を残して家を出て行くことになりました。

なんとかあなた達の為に努力してみただけですが父さんには、理解してもらえませんでした。ただ、このままだとあなた達に笑顔が見せられなくなってしまいました。

父さんに言われるままに暮らしていたら、母さんは、自分らしさを失ってしまいます。自分の人生を悔いた事はないけれど我家にもっと余裕があったら、もっともつとあなた達と過ごす時間を持つことが出来たのにと、初めて後悔しました。あなた達が一番母さんを理解してくれていたと信じています。仕事が忙しくてなかなか側に居てやれなかったけれど「母さんお仕事がんばって」と言ってくれるあなた達の言葉が悲しい程嬉しかった。

あなた達が産まれた日は、母さんにとって一番幸せな日でした。そんなあなた達も成長し今では二人共小学生です。あなた達の成長をどれほど楽しみにしていたか、あなた

達の笑顔にどれだけ癒されていたか、その全てを失う苦しみは母さんの受けるべき罰なのでしょう。離れてしまったらあなた達がどんな危険な目に遭っていても助けてあげることが出来ません。どんなに嬉しい事があっても一緒によろこんであげることができません。「母さん好き好きして」としがみついて来るあなた達のぬくもりを感じることも出来ません。

あなた達の為に食事の用意をしたり、そうじをしたり洗濯するのが大好きでした。決して立派な母さんではなかったけれど、あなた達のこと大好きでした。どこにいてもあなた達は母さんの大事な大事な宝物です。けっして壊したり傷付けたりしないで、自分を大切にして下さい。とても短い間だったけど母さんを大切に思ってくれてありがとう。

*主人との価値感の違い借金苦の為お互い人生をやり直す為離婚します。子供は渡さないと言われた為、主人の所へ託すことになりました。